学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 数学科

科目名 ：	数学Ａ	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 2 回
使用教科書 ： 改訂版 新 高校の数学Ａ （数研出版）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	2 回	3 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	特別課題を与えることがある			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

●第１範囲では、場合の数や順列・組み合わせで「もれも重複もなく捉えること」を学習する。
●第２範囲では「偶然の中にある法則性」を利用しながら「物事の起こる確からしさ」を確率で学習する。
●第３範囲では円、三角形などを利用し、図形の基本を学習する。
また、最後に整数の性質についても学習する。
どの分野も教科書を徹底的に読み、基本的な考え方を理解します。それでもわからない時は担当者に質問しましょう。教科書の例・例題や練習問題なども参考にして、レポートを仕上げましょう。

2 学習の到達目標

場合の数と確率，図形の性質または整数の性質について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指すことにより理解する。事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさが認識できるようになりましょう。またそれらを活用することができるようになりましょう。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：数学的な見方や考え方	c ：数学的な技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検 （レポート）	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

※「数学Ａ」は、「数学Ｉ」と同時にあるいは履修後に受講できます。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	順列・組合せ	場合の数 和の法則・積の法則 順列 順列の利用 組合せ・組合せの利用	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a順列組合せに関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 c順列組合せにおいて表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 d順列組合せの基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート
2範囲	確率	事象と確率 確率の計算 排反事象の確率 余事象と確率 独立な試行と確率 条件付き確率	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a確率に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 c確率において表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 d確率の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート
3範囲	平面図形・整数の性質	図形の基本 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理 整数の性質 素数　約数と倍数 ユークリッドの互除法	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a図形と整数に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 c図形と整数において表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 d図形と整数の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
　　c：数学的な技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。